

- 一、長谷部隼人之助が一子、宮内介、討死の事
- 一、檜山切山の城落城、火の手上がる事
- 一、大高相模守、男鹿の城へ落ち行く事
- 一、船越の伏せ勢、男鹿の城へ押し寄せる事
- 一、男鹿の城合戦、三牧九郎・大亀権太郎・三嶋又八討死の事
- 一、八柳殿・新庄殿の勢、敗北の事
- 一、大高相模守康澄、湊の城へ向かう事
- 一、九郎殿御出馬、船越合戦の事
- 一、愛吉公敗北、湊へ引く
- 一、大高康澄、湊を責め落とし、湊勢逃る事
- 一、九郎愛吉公、仙北さして落ち行き給う事
- 一、愛季公、湊の城に御多りの事
- 一、石岡主典、浦の城へ寄する事
- 一、浦落城、兵庫守腹切の事
- 一、千代若、落ち行き、檜山沢の寺に居住の事

- 一、三浦左衛門尉、若君御供、庄内酒田へ参る事
- 一、千代若元服、神林常勘の所へ入り給う事
- 一、酒田神林常勘、湊へ下りし事
- 一、愛季公、三浦五郎盛末、召し返さるる事
- 一、五郎盛末、本領給わり、押切の城居住の事
- 一、甲斐守、主の盛末が事讒言ざんげんの事
- 一、盛末、湊永覚町にて討死の事
- 一、甲斐守、押切の城へ移る事
- 一、五郎靈魂、光り物に成り、甲斐守父子つか摺み殺す事
- 一、愛季公、五郎の靈魂、若宮権現と祭る事、附、一日市村、清源寺の事
- 一、城之助殿、奥州三春へ御国替えの事

### 太郎実季 湊の城に居住の事

そもそも、出羽国秋田湊太守をば安芸守安藤太郎安部実季まねすえ、奥州安部貞任の御末、安藤九郎盛永